

■居住地域
Memorial

■ハリケーン前の準備状況

水、食料の買出し、排水溝のチェック、給油、バスタブに水を溜める
お風呂の栓のみですと、少しずつ水が流れて減ってしまうので、ビニールのテーブルクロスを敷いてから水を溜めました。

■避難の有無
自主避難

■避難先
親族、友人、知人宅

■避難の状況など差支えない範囲で教えてください。

8/27(日)の朝の6時半ごろから停電し、外を見てみると、家の前まで水が来ていました。車で脱出しようにも、1つしかないタウンハウスのエントランスは腰の高さまで水が来ていた為、車での脱出は断念。急いで1階にあった荷物を2階に避難させ、しばらく2階のみで生活が出来るように整えました。30分もしないうちに水が家の中に入ってきましたので、水の中を歩きながら荷物を2階に運びました。そんな折、友人から連絡をもらいお宅に避難させて頂けるとのことで、リュックサックに当面の着替えを詰めて徒歩で家を後にしました。

その後、友人宅に2泊お世話になり、なんとか探したホテルに1週間泊まりました。ホテルは1週間まとめて予約が出来ず、毎朝フロントで今晚の部屋を確保する毎日でした。

■避難期間
1週間から2週間

■被害の状況
1階部分 3フィート程の浸水
家具(ソファ、ダイニング、TV台、食器棚等)、車2台(廃車)、停電

■そのほかハリケーンに関して体験談や、アドバイスなどご自由にお書きください。

当初、水はすぐに引くと思っていましたが、ダムの放水の発表で洪水が長引くことを知り、すぐにアパートを探し始めました。

私達と同じように探し回っている方が多く、家族向けの部屋はすぐに空きがなくなるという状況でした。

浸水した家にはほぼ毎日様子を見に行きました。水深が深く、手前の道路までしか行けない日が続きました。ボランティアの方が舟を出してくださり、順番を待ってボートで家に向かいました。家の前でボートを降り、ウエストまである水の中を歩いて玄関に向かいました。持てるだけの荷物を持って、歩いて岸に戻りました。家が長い間水に浸っている状態です。カビの心配があり、2階の部屋に除湿剤を沢山置いておきました。

水が引いてからは引越しの準備をし、運べるものから順次自分たちで運んでいきました。ベッドなどの重いものは引越し屋さんをお願いしました。

二人の息子達も協力して作業する姿になんだか成長を感じました。周りの方々にも沢山お世話になり、感謝で一杯です。

■居住地域
Spring Branch

■ハリケーン前の準備状況

9/22(火): まずは、ガソリンが売り切れる前に自動車を満タンにしておく。

9/23(水):すでにフリーウェイの電光掲示板に「ガソリンを満タンにせよ」と注意喚起されていたので、本格的に準備をする目安となった。自宅の食料品、懐中電灯、ハリケーン必需品の在庫確認と買い出しを始めた。例:我が家は電気のレンジなので、停電すると料理ができないため、必需品のカセットコンロ用のガスだけ買い足した。(この時点では、パニック買いが始まっていなかったため、余裕で購入。)

9/24(木):家族で分担してさらに買い出し。お水、携帯電話の充電器、トイレトペーパー、電池、缶詰、乾物、その他ラーメンなどのインスタント食品。自宅の冷蔵庫の製氷機でできた氷を Ziplock の袋に入れて少しずつ貯めていく。こうしておくと停電したときに、冷凍食品が日持ちする。

9/25(金):午前中はオフィスは IT 会社に連絡、念のため自分でデータのバックアップも行う。午後は関係者に事前通知をして事務所を閉め、スタッフは帰宅。自宅では、停電になってもどこに何があるかわかるようにキャビネット内や冷蔵庫内を点検。例:懐中電灯やキャンドル、チャッカマンなど、また避難する時に持って行く貴重品(パスポートや大切な書類)を集めておく。ご飯を炊いて小分けし、冷凍しておく。解凍してさっと温めれば食べられるもの(カレー、スパゲティ、ミートソースなど)を準備。

この頃には、食料品店では飲料水や缶詰が無くなり、ガソリンスタンドには長蛇の列ができていた。

9/26(土):洗濯を済ませ、お風呂に水を張る、ラジオやハリケーンランプの確認。夜に帰宅中の家族の車がすぐ近所で浸水し、動かなくなった。

9/27(日):すぐ近くなる Reservoir の水が溢れそうだという情報が入ってきたので、荷物を二階へ移動させた。放水が始まって少し安堵するが、それにより被災された方々の情報が入り心が痛む。

■避難の有無
無し

■被害の状況
車 1 台が浸水。自宅の雨漏りにより、カビ発生。(カビアレルギーのため、現在も体調不良)

■そのほかハリケーンに関して体験談や、アドバイスなどご自由にお書きください。
ヒューストン滞在歴 30 数年でハリケーンを数回経験しているので、いくつかアドバイスを書かせていただきます。一言でハリケーンと言っても、雨量が多いタイプ、風力が強いタイプなど、タイプによって被害の内容や場所が異なり、何をどう準備すればよいのか一般論としてお話しするのは難しいのですが、今後のご参考になれば幸いです。

1) 準備は早めに

フリーウェイに「ガソリンを満タンにしなさい」という注意喚起が出るころには、買い出しを大体済ませておくこと。ちよっとタイミングを見逃すと、売り切れ、長蛇の列で待つなど、時間とエネルギーの無駄になります。

我が家の場合、電気のレンジで停電すると調理ができないので、必ずカセットコンロとガスの準備をしておきます。後は、水や缶詰、カップ麺などの食料品、懐中電灯や充電器などの準備、いざ避難という時用の貴重品の事前に準備をしておきました。

自宅の浸水が心配なら、先にホテルの予約だけ入れておくともよいかもしれません。また、会社側で対応可能な場合は、事前にホテルを数部屋確保したり、自家発電機などをストックしておくのも一案です。

車が複数台ある場合は、1台をできれば徒歩圏内のホテルやオフィスのビルレベルの **Parking Garage** に持って行き、3階以上の高い所に駐車しておくことで自宅でも1台浸水したときに助かります。

2) 逃げるが勝ち？

ヒューストンの洪水を甘く見てはだめです。あつという間に水位が上がるため、土地勘が無くどこが洪水になるか見当がつかない人は、とにかく待たないこと。警報などが出たら、迷わず仕事は止めて帰宅することをお勧めします。その際、遠隔で仕事を続けられるよう設定しておくことで便利です。自宅—オフィス間の代替ルート(裏道)を知っておくと冠水地域や交通渋滞を避けて帰宅することができますし、道路状況を確認しながら運転する時は **Waze** などのアプリも役に立ちます。**Tropical Storm Allison(2001)**の時に義弟が実際に経験したのですが、フリーウェイで浸水して車が止まったら迷わず車を捨てて高い所を目指して逃げないと、水圧でドアが開かず車中に閉じ込められて大変危険です。場所によっては **Metro** のバスの屋根の上まで水位が達することもあるので要注意。

ハリケーンの直撃を受けたときに籠城組になるのか避難組になるのか、予め検討し準備しておくことも大切です。ぎりぎりまで待ってから避難すると、途中で道が閉鎖されたり交通渋滞に巻き込まれてもっと大変なことになるからです。**Hurricane Katrina(2005)**の時は、ルイジアナ州からの民族大移動でフリーウェイが大パニックになり、それを見て非難することを諦めました。その教訓を活かしてか、その後、非常時にはフリーウェイが内陸の避難方向に向けて全車線切り替えることができるサインができました。

特に、小さい子供、妊婦、高齢者、病人がいる場合は、洪水で空港やフリーウェイが閉鎖される前に内陸の町(例:オースティン、ダラス)へ避難するオプションを検討しましょう。我が家の場合は、週に3回人工透析をしなければならぬ高齢な義父がいたため迷いましたが、浸水はしないであろう地域に住んでいたため籠城組と決めてフォローしました。結果、停電のため透析を1回受けることができず義父の顔が紫色になり、ある意味「命がけ」の決断でした。

3) 日常から地域の情報のネットワークを確保

日頃のご近所付き合いが大切ですが、最近はネット時代なのか以前ほどご近所さんとお話しすることがありません。持ち家の場合は勿論ですが、一軒家を借りている場合は、そこの **Home Owners Association** やコミュニティーのネットワークがあればそれに加入すると身近でより信頼できる情報を共有できます。例えば、近所に毒蛇が出た情報から、ドラッグの売人が公園の近くにいた情報、ごみの出し方が変更された情報、停電の情報など次々と入ってきますし、プールの鍵の入手方法など知りたい情報をリクエストすることも可能です。

また、コミュニティーによっては、**crime/drug prevention** や単にご近所さんと知り合いになろうという目的で **National Night Out (NNO)** というイベントを10月頃に開催ところもありますので、参加してみたいかでしょうか。ある知り合いの駐在員家族は、前回のハリケーンの際に同じブロックに住む方々共催の **Hurricane Party** に招待され、停電して冷凍庫にある上等のお肉がダメになる前に、皆で楽しくバーベキューし、アメリカ人の陽気で助け合う精神を学んだと語っていました。

最近はケーブルテレビを入れて物凄い数のチャンネルがあるので、ローカル情報の入手できるテレビチャンネル(例: **Channel 2, 11, 13**)を知っておくのもよいかと思います。局によってはテレビによる報道だけでなく、情報(例:学校区による休校情報)をサイトから入手できるようになっていたりするので便利です。

■居住地域

Katy

■ハリケーン前の準備状況

大きなハリケーンが来るとニュースなどで発表しだした頃から「水」については売っている店々で1-2ケースずつ買って用意していました。ハリケーンの来た前日に **Costco** へ別の買い物へ行った時には、朝の10時のオープン前から駐車

場はいつばいで停められず、水を求めて長蛇の列ができていました。事前に水を買っておいてよかったと思いました。その日の昼過ぎには、近所のスーパーやドラッグストア、ホームセンターまでもの水が売り切れになりました。

食事の為には、ライフラインが止まっても食事が作れるようにカセットコンロとガス、食べ物は、お米、缶詰のスープや缶詰のコーンやビーン、パスタと瓶詰めのパスタソース、カップラーメン、レトルトカレー、フリーズドライのスープ、スパム、パン、お菓子等...1-2週間分の食料を揃えておきました。また、停電しても冷蔵庫の中身がすぐに腐らないように、なるべく沢山の水を冷凍しておきました。その他には、家族分の懐中電灯とヘッドライト、全種類の電池を(単1-単4)たくさん用意しました。

車に関しては、ガソリンを満タンにして、タイヤの空気を少し高めに入れておきました。

また、いつでも避難できるように2.3日分の家族の着替え、パスポート、日本のお金等をボストンバッグに用意しておきました。

■避難の有無 自主避難

■避難の状況など差支えない範囲で教えてください。

我が家は避難しませんでした。ご近所の方々と外に集まり「避難する決断をいつするか」を随時話し合っていました。

■そのほかハリケーンに関して体験談や、アドバイスなどご自由にお書きください。

日本人同士のグループ Line や Next door 等で情報交換できたことはとても助けになりました。

我が家周辺は停電しなかったので使いませんでしたが、災害時の携帯は情報を得るのにとっても大切な Life line になるので車のエンジンから充電できる充電器を持っていると良いと思います。

経験談ですが、雨が上がって外の状況を見回っている時に、近所では見たことのない2人組の男の人が行政を装い「ダムが決壊して、あと1時間後にここに4ftの水が来るから逃げた方がいい」とデマを流していました。

幸い Next door を使ってる近所の方から「泥棒が浸水するとデマを流している」という情報が入ったので事なきを得ました。1時間後に4ftの水は来ませんでした。

■居住地域 Memorial Park / Heights

■ハリケーン前の準備状況

水や食料を1週間分買い貯めました。車を満タンにし、家の中には懐中電灯をあちこちに置き、非常用のクランクして充電できるラジオを用意しました。またシャワーや洗濯などは済ませておき、携帯やアイパッドの充電は充分にしておきました。

■避難の有無 避難なし

■被害の状況

幸いな事に被害はありませんでした。

■そのほかハリケーンに関して体験談や、アドバイスなどご自由にお書きください。

ハリケーン通過後の交通渋滞を甘くみていました。ニュースやグーグルマップが報じている道路情報は正確ではなくその数倍も事情は悪かったです。できる事ならほほ通常に戻るまで出歩かないほうが良いと思います。

■居住地域 Katy

■ハリケーン前の準備状況

水の確保:金曜日に買いに行きましたが、ほとんどの店で売り切れていました。月曜日にCVSに行ったら、たくさんありました。

給油:会員制大型スーパーの会員で、日曜日に給油できましたが、他のところは売り切れだったようです。会員のみが利用できる場所だったので、ガソリンが残っていたのでは?

■避難の有無

避難なし

■被害の状況

被害なし

■そのほかハリケーンに関して体験談や、アドバイスなどご自由にお書きください。

食料品は、I-10とMayronのメキシコ系スーパーがあいっていました。月曜日に買いに行ったら、店の前に列ができていて、みんな雨に濡れながら待っていました。入場制限があって、一度に30人くらいずつしか中に入れていなかったため、30分くらい外にいました。中に入ると、野菜や果物などの生食料品はたっぷり残っていましたが、肉はあまりなく、魚はありませんでした。

会員制の店に入っておくと、購入できる人が限られてくるので、ガソリンは少し長く残っている可能性があると思います。避難所になっている教会に行きました。犬をつれている人がたくさんきていました。近所の人が、次々と救援物資(水、食料、着替えなど)をもって現れていました。高校生くらいの子も達が、率先して手伝いをしていて感心しました。

■居住地域

Galleria

■ハリケーン前の準備状況

金曜夜のハリケーン上陸予想の前日の木曜日で、スーパーなど3軒回りましたが水は売り切れ状態でした(単身であり、予備の水がなくても大丈夫でした)。缶詰など、停電でも食べられるものを追加しましたし、冷凍庫のものは少なめにしておきました。また、トイレなどに備え、水をバケツにためておきました。携帯の充電は常におくようにしておきました。車の給油も済ませておきました。

■避難の有無

避難なし

■そのほかハリケーンに関して体験談や、アドバイスなどご自由にお書きください。

早めの行動が大切だと思いました。また、不要な外出は控えました。

浸水、停電がなく、無事に乗り越えられました。

■居住地域

Memorial Park / Heights

■ハリケーン前の準備状況

●食料品:ミネラルウォーターは予備があったので購入せず、食料品のみ日持ちのする缶詰などを4,5日分購入。停電すると冷蔵庫が使えない可能性があるため、生鮮食品は購入を控えた。停電に備えてクーラーボックスと氷を用意した。

●給油:上陸の前日に満タンにしておいた。前々日からガソリンが売り切れるスタンドがあり、逼迫した状態に。

●その他:断水に備えて、バスタブ、大きなバケツに水を溜めておいた。

■避難の有無

避難なし

■そのほかハリケーンに関して体験談や、アドバイスなどご自由にお書きください。

ハリケーンは初体験でした。想像以上の大雨と冠水で恐怖を感じました。自宅の浸水は免れたものの、周辺道路は冠水していて、3日間ほど外出することができませんでした。近くを走る I10 が大河のようになり、15Fほど冠水している光景を目のあたりにして、嘔然としました。

ハリケーンの全体的な情報はテレビと、ハリケーンをトラックするアプリを活用しました。近所の冠水状況などは Nextdoor が役立ちました。今回は避難や停電がなかったのが助かりましたが、携帯用ラジオ、携帯用充電器、避難用バック(貴重品や身の回り品を入れたもの)を準備したほうがいいです。

【お役立ちサイトやアプリ】

FEMA (<https://www.fema.gov/>) (Federal Emergency Management Agency の略称で、アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁。Reservoir の水位なども発表)

Houston RECOVERS (<https://houstonrecovers.org/>) (ヒューストン市のハービー復興に関する情報サイト)

Nextdoor(<https://nextdoor.com/>) (ご近所さんで情報を交換できるサービス。近所の細かな情報を得るには一番有効。会員の間でもよく使われた模様。アプリも有。)

Houston Transtar(<http://traffic.houstontranstar.org/layers/>) (ヒューストン市内道路情報 **お役立ちサイトやアプリ**)

Hurricane Tracker (地元局 KPRC が提供するハリケーン情報アプリ。ハリケーンの進路と雨雲の動きがリアルタイムでみれる)

WAZE (カーナビアプリ。登録者がお互いに情報を提供するので市内の通行止めや渋滞がよりリアルタイムにアップデートされる)

【ハリケーンでよく使われる英語】

Tropical Depression - Tropical Storm – Hurricane: 最大風速によって弱い順に、「熱帯低気圧→熱帯暴風雨 →ハリケーン」と分類されていますが、日常用語と専門用語の分類は混乱して一般に使用されていることが多いです。

Flash Flood Watch: Watch は洪水注意報、Flash Flood Warning は警告でもっと深刻な状況です。同じように竜巻警報 (Tornado Warning) もあります。

Mandatory Evacuation: 強制避難。Voluntary Evacuation (自主避難) とは異なり、この命令 (Order) が出た時に従わない場合は、レスキュー隊の救助を受けることができない可能性があることを覚悟しなさいということになります。

Storm Surge: 嵐によって生じる高潮

FEMA: Federal Emergency Management Agency の略称で、アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁のこと。大災害に対応するアメリカ合衆国政府の政府機関であり、天災にも人災にも対応。連邦機関、州政府、その他の地元機関の業務を調整することを請け負うほか、家屋や工場の再建や企業活動・行政活動の復旧にあたり、資金面からの支援を行っています。今回のハリケーンで被災された駐在員の中にも、支援を受けることができるかどうかはわからないがとにかく FEMA に申請したという方々がいると聞いています。

Curfew: 外出禁止令 (地区や時間が指定されることがあるので、要注意。)

※このほかにもヒューストンでは、水やガソリン不足の際に使用制限が発令されたこともあるので、情報入手はとても大切。

Looter: looting は略奪という意味ですが、被災した家屋や店など荒らし、金目の物を盗む人たちのことです。

Reservoir: 貯水池。Reservoir の周りは堤防 (levee) で囲まれており、それが決壊 (breach) することが今回の大雨で懸念されました。ヒューストンには、バイユー (bayou) と呼ばれる米国南部独特の川があり郊外の住宅地の中をくねくねと曲がりながら流れています。貯水池から放水 (release) された水がこのバイユーを通るので、今回は大きな被害をもたらしました。ヒューストンで家を買う時に注意したことが 2~3 あるのですが、そのうちの一つは洪水になる可能性が高い Bayou 近辺は避けるということでした。